

物語文にみるみる強くなる語彙 600 No.181～No.210

No.181 『つまびらか』 ⇒内容を細部まで明らかにする。詳細を明示する。

[例文] 彼が転校していった本当の理由が、つまびらかにされることはないだろう。

No.182 『たなびく』 ⇒薄く層をなした雲・霞などが横に長くただよう様子。

[例文] たなびく雲の切れ間から陽の光が差してきた。

No.183 『そうそうに』 ⇒急いで物事をする様子。さっさと。

[例文] 雲行きが怪しくなってきたので、そうそうに引き上げてきた。

No.184 『つんけん』 ⇒話し方や態度が無愛想で、とげとげしい様子。

[例文] 彼女は人見知りが激しく、つい初対面の人につんけんしてしまう。

No.185 『ままならない』 ⇒思い通りにならない。

[例文] 怪我をしてしまい、練習はおろか歩くこともままならない状態だ。

No.186 『生業（なりわい）』 ⇒生活をしていくための仕事。

[例文] この地域は、代々、農業を生業としている家が多い。

No.187 『利発（りはつ）』 ⇒賢いこと。

[例文] 小さい頃から利発そうな子だと言われてきた。

No.188 『心なしか』 ⇒そう思うからか。気のせいかな。

[例文] 風鈴の音を聞くと、心なしか体も涼しくなってゆくようだ。

No.189 『身動き（みじろぎ）』 ⇒体をちょっと動かすこと。

[例文] あまりの恐怖に身じろぐこともできなかった。

No.190 『柔和（にゅうわ）』 ⇒性質・表情がおだやかで、やさしいこと。

[例文] 柔和な表情が一変して怒りの表情となった。

No.191 『すこぶる』 ⇒程度がはなはだしい様子。非常に。たいそうに。

[例文] なぜだかあの日の父は、すこぶる機嫌がよかった。

No.192 『気さく』 ⇒気どりがなく、うちとけやすい様子。

[例文] 転校初日に気さくに声をかけてくれたのが彼だった。

No.193 『打ち解ける（うちとける）』 ⇒心のへだてがなくなって親しむ。

[例文] 帰り道が一緒だったことで、すぐに打ち解けることができた。

No.194 『狼狽（ろうばい）』 ⇒思いがけない出来事に、あわてふためくこと。

[例文] 彼のあまりの狼狽ぶりにただごとでないことを察した。

No.195 『面映ゆい（おもはゆい）』 ⇒照れくさく感じる。恥ずかしい。

[例文] 当たり前のことをしただけなのに、思いのほか感謝されて面映ゆい気持ちになった。

No.196 『ひときわ』 ⇒他とくらべて特にきわだっている様子。

[例文] 彼の絵は、数ある作品の中でもその色使いでひときわ目立っていた。

No.197 『ことごとく』 ⇒問題にしているもの全部。残らず。

[例文] 誰が話しかけても、彼はことごとく無視した。

No.198 『こぢんまり』 ⇒小さいがほどよくまとまって、落ち着いている様子。

[例文] 引っ越してきた町は、人口も少なくこぢんまりとしている。

No.199 『あかぬける』 ⇒洗練されて野暮なところがなくなる。

- [例文] 見た目はすっかりあかぬけたが、話してみると昔の彼のままだった。
- No.200 『つけんどん』 ⇒態度やことばづかいが冷淡でとげとげしい様子。
- [例文] つけんどんな物言いのせいで、彼女はクラスで浮いた存在になっている。
- No.201 『收拾 (しゅうしゅう)』 ⇒混乱した物事などをとりまとめること。
- [例文] 誤解が誤解を呼び、收拾がつかなくなった。
- No.202 『憶測 (おくそく)』 ⇒根拠もなく、いいかげんに推測すること。
- [例文] 理由がきちんと説明されなかったことで、様々な憶測を呼んだ。
- No.203 『やぶれかぶれ』 ⇒どうにでもなれという気持ちになること。
- [例文] その当時の私は、何をやってもうまくいかず、やぶれかぶれになっていた。
- No.204 『こわばる』 ⇒やわらかいものが、つっぱったように固くなる。
- [例文] その話題になったとたん、父の表情が急にこわばった。
- No.205 『うとましい』 ⇒好感が持てず遠ざけたい。
- [例文] あまりに頻繁に連絡してくるので、だんだんとうとましくなってきた。
- No.206 『手もちぶさた』 ⇒何もすることがなくて暇をもてあますこと。
- [例文] 手もちぶさたにしていたところ、友達が訪ねて来てくれた。
- No.207 『高揚 (こうよう)』 ⇒精神や気分が高まること。また、高めること。
- [例文] 思い切ってチャレンジしてみたところ、今まで味わったことがないような高揚感が得られた。
- No.208 『没頭 (ぼつとう)』 ⇒他をかえりみず、一つのことに熱中すること。
- [例文] 一つのことに没頭している彼が羨ましい。
- No.209 『慢心 (まんしん)』 ⇒おごり高ぶること。また、その心。
- [例文] あまりにうまくいきすぎて、慢心が生まれてしまった。
- No.210 『頑 (がん) として』 ⇒強く自説を主張し、人の言うことを聞き入れない様子。頑固に。
- [例文] 誰が説得しても彼は頑として受け入れなかった。